

筑波大学附属駒場中・高等学校

第52回教育研究会のご案内

1. 期日・場所

○ 2025年11月22日（土）

○ 筑波大学附属駒場中・高等学校 〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-7-1

HP: <https://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp> e-mail: kyoikukenkuyukai@tsukukoma-gafe.org

2. 研究主題

「教師の専門性を生かして深い学びをつくる」

3. 日程

8:30～9:30	9:30～10:20		10:40～11:30		12:40～14:40		15:00～16:30
受付	第1校時		第2校時		研究協議会		講演会

〈1〉公開授業（9:30～11:30） 国語・数学・保体・家庭

第1校時（9:30～10:20） ※家庭は第2校時から

教科	題目と要旨	学年	授業者
国語	連句の扱い方 授業で伝統的な文芸を紹介する際、連句（俳諧の連歌）は、その難解さゆえかほとんど取り上げられない。江戸期に貴賤を問わず広く愛好され、俳句の母体ともなった連句を、予備知識のない生徒にどう教えるか。連句は実作を通じて「読むこと」「書くこと」（伝え合い）の面でも優れた題材となりうる。	中学3年	千野 浩一
数学	関数と図形 反比例のグラフ（双曲線）と1次関数のグラフ（直線）はともに特徴的な対称性を持ちながら、中学校の授業で同時に扱われることは少ない。関数のグラフと図形の性質と関連付けて、生徒自身が課題を発見し深めていく探究的な学びを実現する教材を提案する。	中学2年	須藤 雄生
保体	起立性調節障害 起立性調節障害（以下、OD）は思春期に好発する自律神経系の不調によって引き起こされる病気である。しかし、本人を含め、家族や学校関係者等のODに対する理解不足から、心理的問題として誤解されることも少なくない。本時はODの病態について正しく理解することを目標とする。	中学2年	山合 洋人

第2校時（10:40～11:30）

教科	題目と要旨	学年	授業者
国語	漢文から学ぶ論理的思考 諸子百家の文章を分析して、漢文の構造と意味を理解しつつ、相手を説得するための論法を学ぶ。またそれを応用して企画書や意見書などを作文することで実生活に活かせる技能を身につける。	高校1年	有木 大輔
数学	関数 本授業では、二次関数に関する基本的な理解を踏まえた上で、その性質や応用に関して主体的・探究的に思考する学習活動を行う。 グラフの構成を考察し、既習の公式や定理の背景にある構造的な意味を見出すことを通じて、生徒の数学的な見方・考え方の深化を目指す。	高校1年	吉崎 健太
保体	マルチスポーツがスポーツの未来を拓く 通常の授業と異なり、総合学習における保健体育の講座の授業である。日本で推進されようとしているマルチスポーツをテーマにして、生徒たちが調べたことを学校の中で自分たちにどう活かすことができるか考える。	中学3年	横尾 智治

家 庭	STOP! 消費者被害 家庭基礎の「C消費生活・環境」の学習のまとめとして、消費者被害防止に資する動画とチラシ作成を行う。今年度は地域の消費生活センターの協力で、シナリオ・絵コンテ段階で必要なコメントをつけていただき、より実態に即した形で作品製作を行う。本時は完成した作品の鑑賞と意見交換の部分である。	高校 2年	植村 徹
-----	---	----------	------

〈2〉研究協議会（12:40～14:40）

教 科	主 題 ・ 内 容	担 当 者
国 語	「公開授業をめぐって」 公開授業の様子を振り返り、参加者や助言者を交えて意見を出し合って研究協議を行なう。	授業者 千野 浩一 有木 大輔
		発表者 本校国語科
		助言者 長田 友紀 （筑波大学人間系教育学域・教授）
数 学	I 「公開授業をめぐって」 各公開授業について、授業者からの趣旨説明と自評、参観者からの質疑応答をまじえた研究協議を行う。 II 「生徒の探究心を刺激する数学科教材開発の全国展開」 数学科では過去20年以上にわたり、生徒の創造的な探究活動を促す教材の開発と実践、及び教材開発の枠組みの構築を行ってきた。この蓄積をもとに更なる展開として全国へ向けた発信・共有をより強く意識して研究を行っている。これに関連した昨年度～今年度の数学科の取り組みを報告する。	I 授業者 須藤 雄生 吉崎 健太
		II 発表者 三井田 裕樹
		助言者 山本 光 （筑波大学数理物質系数数学域・准教授）
保 体	I 「公開授業をめぐって」 公開授業について、授業者からの趣旨説明、参観者からの質疑応答をまじえた研究協議を行う。 II 「マルチスポーツの現状を考察する」 スポーツ庁では、我が国に適した『日本型マルチスポーツ』環境を構築・充実していくために必要となる取組等を実施していくこととしており、令和6年度から「地域における子供たちの多様なスポーツ機会創出支援事業」を実施している。この事業を牽引されている大山先生のお話を交えこれからのマルチスポーツ環境を検討する。	I 授業者 山合 洋人 横尾 智治
		II 発表者 横尾 智治
		助言者 大山 高 （筑波大学体育系教授（兼任）筑波大学体育スポーツ局スポーツアドミニストレーション部門 部門長）
家 庭	「公開授業をめぐって」 公開授業について、授業者の趣旨説明に続き、参観者との質疑応答を交えた研究協議を行う。 あわせて、地域・企業連携の必要性を認識しつつ、現時点では十分に実現できていない本校家庭科の状況を参加者間で共有する。 その上で、社会に開かれた教育課程の観点から、生徒の学びの還元先や方法について協議する。	授業者 植村 徹
		発表者 植村 徹
		助言者 庄司 佳子 （（公財）消費者教育支援センター エグゼクティブフェロー）

〈3〉講演会（15:00～16:30）

「深い学びをつくる教師の専門性」

講演者

石井 英真 氏（京都大学大学院教育学研究科准教授）

専門は教育方法学、教育評価論、カリキュラム論。中央教育審議会初等中等教育分科会 教育課程部会教育課程企画特別部会の委員を務める。著書に『再増補版 現代アメリカにおける学力形成論の展開』、『授業づくりの深め方』、『未来の学校 ポスト・コロナの公教育のリデザイン』、『中学校・高等学校 授業が変わる学習評価深化論』、『教育「変革」の時代の羅針盤』、『高等学校 真正の学び、授業の深み』（編著）、『[Round Study]教師の学びをアクティブにする授業研究』（共編著）、『失敗から学ぶ』（監修）などがある。

企画概要

前半は、石井英真氏により、「深い学びをつくる教師の専門性」をテーマに講演していただく。講演を通して、「深い学び」をどのようにとらえていけばよいか、「深い学び」を実現する教師の専門性とはどのようなものか、その専門性の成長をどのようにとらえることができるか、などを考察する。

後半は、本校教員数名が登壇し、「深い学びをつくる教師の専門性はいかに育つのか：筑駒教員の場合」をテーマに事例を紹介したうえで、石井氏を交えてディスカッションを行う。ディスカッションを通して、中等教育の学校現場においてどのような専門性が求められるか、その専門性を高め教師として成長していく契機となる経験や取り組みはどのようなものか、などを考察する。

企画趣旨

次期学習指導要領に向けた議論の中で重要な論点の一つとなるのが、「資質・能力の育成につながる有意義で深い学びを、いかにしてすべての子どもに保障するか」である。ここでいう「深い学び」を「真正（ほんもの）の学び」「教科に固有の見方・考え方をはたらかせた学び」と関連させてとらえた場合、その成否は教科の専門家・学びの専門家としての教師の力に負うところが大きいといえる。では、「深い学び」を実現する教師の専門性とはどのようなものか。教師としての成長の過程において、その専門性はどのように高められていくのか。本企画では、教師の資質・能力にフォーカスして、これらの問いについて考察する。

石井英真氏による講演では、「深い学びをつくる教師の専門性」をとらえる観点や理論的な枠組みをお話いただく。その理解をふまえて、本校教員が「深い学び」「真正（ほんもの）の学び」を求める本校生徒に伝えるために、着任以来どのように学び、ときに挫折や失敗をへて授業を改善してきたか、エピソードベースで紹介する。理論と実践を重ね合わせながら、各教科で「深い学び」を実現するための教師の専門性をいかに高めるか、石井氏に助言をいただきながらディスカッションを行い、考察と議論を深めたい。

4. 問い合わせ・申し込み

- 参加資格 参加は教育関係者に限らせていただきます。
- 定員 国語科40名／数学科200名／保体科なし／家庭科30名／講演会240名（先着順）
- 資料代 無料
- 参加申込 申込フォーム（下記）からお申し込み下さい。折り返し、受付完了メールが届きます。参加の可否につきましては、後日改めてメールをお送りいたします。受付完了メールが届かない場合は、下記のメールアドレスまでお問い合わせ下さい。
- 問い合わせ先 本校研究部教育研究会係 e-mailアドレス：kyoikukenkyukai@tsukukoma-gafe.org
※電話でのお問い合わせはご遠慮下さい。
- 交通機関 下記の地図をご参照下さい。自動車での来校はご遠慮下さい。
- 昼食・飲み物 各自でご用意いただくか、近隣の飲食店をご利用下さい。
- 宿泊施設 宿泊施設は、渋谷周辺の宿泊施設が便利です。各自でお申込み下さい。

——参加申込先——

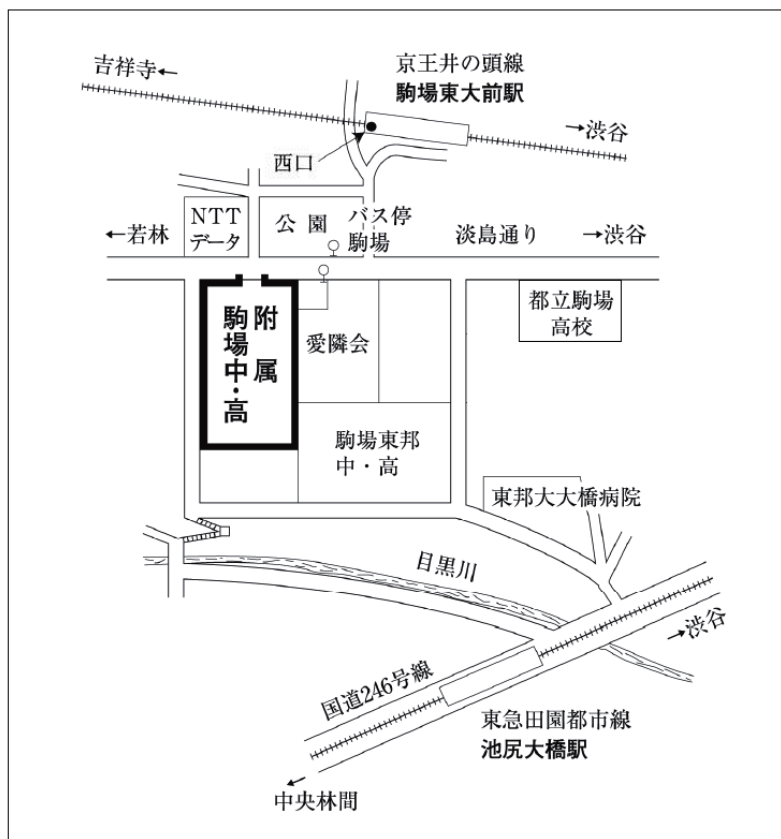
申込フォーム <https://forms.gle/72UTqQjxDUB8FUmw7>

申込期間 2025年10月1日(水)～11月12日(水) 予定

定員に達し次第、申込受付を終了いたします。



筑波大学附属駒場中・高等学校案内図



○利用交通機関

- 京王井の頭線「駒場東大前」駅西口下車徒歩7分
- 東急田園都市線「池尻大橋」駅北口下車徒歩15分
- (渋谷) 東急バス (渋谷－若林折返所)
- (渋谷) 小田急バス (渋谷－経堂) いずれも「駒場」下車徒歩1分